

**製品名: Olig2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87626**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:32 kDa; Observed MW:38 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Olig2
別名	BHLHB1; OLIGO2; RACK17; PRKCBP2; bHLHe19
遺伝子 ID	10215
SwissProt ID	Q13516
免疫原	ヒト Olig2 の合成ペプチド

**背景**

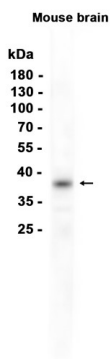
この遺伝子は、脳のオリゴデンドログリア腫瘍で発現する塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス転写因子をコードしています。こ

のタンパク質は、腹側神経外胚葉前駆細胞の運命を調節する重要な因子です。この遺伝子は、T細胞急性リンパ芽球性白血病に関連する染色体転座 t(14;21)(q11.2;q22)に関与しています。この染色体上の位置は、ダウン症候群に関連する学習障害に関与することが示唆されている 21 番染色体領域内にあります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Olig2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。